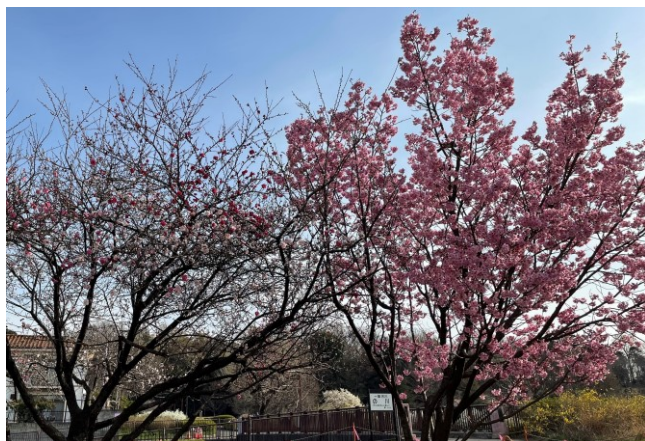


# 季刊 GPW 通信

第18号 2021年春



武蔵野公園の梅と桜

## 目次

桜の蕾

ごあいさつ	.....	P1
イベント報告	.....	P1
お知らせ	.....	P2
自慢のガイドヘルパー紹介	.....	P4
トピック	.....	P5
アプリ紹介	.....	P6
会員募集・寄付を募ります	.....	P7
最後に	.....	P8

## ごあいさつ

理事長 高橋和哉

特定非営利活動法人の認可を受けてから6年経過しました。

事業開始当初は、小金井社協で働きながら小金井の自宅で、途上国就学困難児童支援と杉並区の相談支援を行っていました。お金もないのに平成28年9月に西荻窪に事務所をお借りし、翌29年6月、同行援護事業を開始すると同時に現在の事務所に移りました。

ここ数年で、ようやく職員・ガイドヘルパーにそれなりの賃金をお支払いできるようになりました。6年経っているのですから当たり前かもしれませんが、私としては、“必死のパッチ”でした。

ここから4年間の勝負です。うちのようなちっぽけなNPO法人は、安定した経営が可能な社会福祉法人とは違いますので、一日一日が勝負です。また、先駆的な事業を展開しなければ存在意義はなくなり、そのうち消滅します。そうならないように、職員・ガイドヘルパー一丸となって頑張っていきたいと思っています。皆さまからの叱咤激励を喜んで受けますので、今後ともよろしくお願いします。

## イベント報告

### 1. 高齢視覚障害者のストレッチ教室

1月5日(火)に開催しましたが、1月7日に緊急事態宣言が発出されてからは医療崩壊を防ぐために開催を自粛しています。緊急事態宣言が解除されれば、再開します。



1月5日 ストレッチの様子

第 1、第 3 火曜日の 10 時～11 時 45 分、ゆうゆう今川館で開催しています。

## 2. 楽しくいちからフランス語

毎月第 2 土曜日の 14 時～17 時までに行っています。緊急事態宣言中も 8 名程度の参加者で ZOOM を活用して開催しています。毎回、フランス ナントからシヨントールさんが参加してくれることで皆さんのコミュニケーション能力が確実に高まっています。(皆さんにはその自覚がありませんが)

一方で、基礎が疎かになるので講師としては、基礎とコミュニケーション能力の両立を図ってこうと考えています。フランス語に興味のある方、フランス語を話せる方はどしどし参加してください。

## 3. ドレミファン! (Do.Re.Mi.Fun!)

新型コロナの影響で、1 月 29 日(金)は中止になりました。次回は、3 月 31 日(水)に予定しています。この日の様子は、次回の通信で報告します。

## 4. 社交ダンス

1 月 7 日(木)に開催したものの、緊急事態宣言が発出されたため、それ以降は休止しています。4 月に入ると再開できる見込みです。

コロナ感染予防のため、全てのイベント参加される方に下記のことをお願いいたします。

1. 当日、入室の際、体温チェックにご協力ください。
  2. 室内では、マスク着用での参加をお願いいたします。
- 換気、社会的距離に配慮いたしますのでご協力をお願いいたします。

日時・場所などの変更があった場合ご連絡いたしますので、全て申し込み登録をお願いしています。興味がある方はお気軽にお問合せ・お申込みください。

連絡先は 03-4285-9727 (GPW 事務所)です。お待ちしております。

## お知らせ

### 1. 同行援護事業

東京都の令和 2 年度新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金を活用してタンDEM自転車を購入しました。東京都では、車輪 3 つのタンDEM自転車の公道走行は認められています。

きっかけは、新型コロナウイルスでした。濃厚接触者と判断された視覚障害者や感染疑いのある視覚障害者はどうやって指定された病院に行くのか？公共交通を利用することは避けなければならない、頼みの綱の同行援護を利用するとたちまちそのガイドヘルパーが濃厚接触者になる可能性もあり、有効な手立てが見つかりませんでした。しかし、タンDEM自転車ならガイドヘルパーの安全も確保できると考え



タンDEM自転車に乗る  
高田朋枝さんと橋本

ていました。そこで、遅まきながら東京都の助成金を活用して 3 月末にタンDEM自転車を購入しました。

利用方法は定めていませんが、皆さんの健康増進と風を切って走ることでストレス解消に役立てれば良いと考えています。利用方法が定まればお伝えします。ぜひ、ご利用ください。

## 2. まちづくり事業

### ・横断歩道口用発光ブロック敷設に伴う実証実験

移動制約者が、安全に移動できるまちづくりを目指して 14 年前に、私は大学院に入りなおしました。修士課程の 2 年間で二つのアイデアを研究しました。その一つの研究が、共同研究者のお力添えもあり実を結ぼうとしています。開発したブロックを横断歩道口に敷設することで対岸の横断歩道口までたどり着くことを可能にするものです。この研究は、稲垣具志准教授(中央大学)と私が中心となって、藤澤正一郎教授(徳島文理大学)、株式会社キクテックの体制で 12 年間、行ってきました。初めの数年間は、大学敷地内で歩行実験を繰り返し安全性を確認した後、藤澤先生のお力をお借りして、徳島視覚支援学校前の横断歩道に敷設できました。ここでは、視覚障害者に対する有用性だけでなく、自転車、歩行者、ベビーカー使用者にもバリアにならないかを確認しました。それらの結果を踏まえて今年度、JR 国分寺駅北口に、このブロックが敷設することになりました。今年一年、実証実験の場として更にデータを集めて、視覚障害者の安全な歩行に役立てていければ幸いです。先月、国分寺市長が市議会の施政方針演説の中でこのブロック敷設を紹介してくださいました。



徳島二軒屋交差点に敷設した新たな点字ブロック

### ・携帯型触知図の開発

皆さんも鉄道駅構内に据置型の構内案内図を見かけるとと思います。点字を含んだ触知図ですので、視覚障害者のためでもあります。

しかし、この据置型の触知図は多くの問題点を抱えています。移動中、視覚障害者は白杖を持ちます。もちろんカバンも持つでしょう。雨が降れば傘を持ちます。設置位置が低いと写真のように、読むためには時に座り込む必要もあります。

そこで、携帯型の触知案内図の開発を公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団の助成を受けて行うことになりました。共同研究者は株式会社タカラトミーの高橋玲子さんとわかかの佐藤一人さんです。



しゃがまないと読めない。

### ・杉並区でまちづくりに参画する障害者を養成する講演会

制度は充実してきましたが、移動制約者がストレスなく移動できるまちづくりがなかなか実現しません。その原因はいくつもあります。大概是、自治体の責任にしてしまうことが多いですが、決して自治体だけの責任ではありません。原因の一つは、当の移動制約者と支援者にあり、自治体職員が思わず耳を傾けるような建設的な意見を言ってこなかったことです。この問題を解決するには、第一に、

移動制約者、すなわち当事者の専門家の力を結集することです。次に、まちづくりに関心のある当事者に力を付けていただくこととなります。

そこで、今回、視覚障害当事者の集まりである「わか」の主催で、まちづくりに関する講演会を 4 回にわたって開催します。講師は、まちづくりの第一人者である秋山哲男氏、障害当事者で一級建築士の川内美彦氏、全盲研究者の広瀬浩二郎氏、一級建築士で中途視覚障害者である原利明氏です。

当法人も協力します。この講演会に関する詳細は同封するチラシを参照してください。



秋山哲男氏



川内美彦氏



広瀬浩二郎氏



原利明氏

## 自慢のガイドヘルパー紹介

今回は、令和 2 年 7 月から活躍してくださっている男性ガイドヘルパー大谷和弘(おたにかずひろ)さんです。



photo by haru

「皆さん笑顔ですかー？笑声ですかー？」

同行援護従業者養成研修の研修中、耳に飛び込んできたこの響きを、今も記憶してます。

私は、「笑声(えごえ)」この言葉に触れた時、今まで自身が感じてきた経験してきた世界とは違う世界に、一歩足を踏み入れたなど当時、そう実感させられました。

はじめまして、大谷和弘と申します。山口県防府市出身の 44 歳です。防府市は、瀬戸内海に面し、防府天満宮もあり、日本酒「山頭火」は、お酒好きの方に好評です。

昨年 7 月から、アンサンプルのガイドヘルパーとして、火・水・日に活動中。11 月には、福祉有償運送の運転ができる講習も修了してありますが、まだデビュー前。

さて、いきなりですが、面白いですね！凄いですね！美しいですね！

何が？か、と言うと、

『人』ですね……『人』に尽きるなど！

同行援護に携わらせていただいて、関わる多くの方々の「笑声♥美声♥」から強くそれ感じ、特に最近、そう感じながら多くを勉強させてもらってます。

そして、私自身の思いと行動が、沢山の方々の笑顔と笑声の一助になれば幸甚です。もちろん、まず私が笑顔になる事を心がけて携わらせていただきます。素晴らしいお仕事ありがとうございます。どうぞよろしくお願い致します、ありがとう😊

## トピック

### 🍀 ある日のどうこうえんご 🍀

こんにちは！アンサンプルの常勤ガイドヘルパーの東(あずま)です。

今日は、アンサンプルの利用者の藤井水絵さんと私の憧れでもある、花の銀座にどうこうえんご。

銀座駅 A2 出口から徒歩 1 分、ユニクロ銀座店にウワサの「視覚障害者向けのアテンドサービス」を体験しに来ました！

ここ、ユニクロ銀座店は、なんと、私の育った北海道第2の都市、旭川市役所の庁舎より高い 12 階建てです。しかも、ぜんぶガラス張りフロアで、ぜんぶユニクロ！なまら、すごい。

いざ、入店！

春のファッションを着こなした沢山のマネキンたちがお出迎え！水絵さんも私も、テンション上げ上げ、ワクワクしちゃいますね。一階のマネキン前で、本日アテンドしてくれる入社 3 年目の中西さん(あー、私にもそんな初々しい時があったんだわ)とご対面。



ユニクロ 銀座店



丁寧な商品説明

ここでガイドヘルパーは、中西さんと交代。中西さんが、水絵さんの好みのファッションを聞き取り、向かうフロアを説明し、出発。

フロアは 2 人並んで歩ける優しい広さです。(ムムツ！この中西さん、他のお客さんともぶつからずガイドがお上手。水絵さんとも会話が弾んでる！)

まずは、エレベーターで 5 階へ。シャツ、ブラウス、ワンピースの色や素材の説明を受け、触り心地を確かめながら、ユニクロのショッピングバッグの中へ。(水絵さん、買い過ぎ注意よ！)

そして、そのままエスカレーターで下のフロアに移動。カーディガンやスカートなどを選んで、フィッティングルームへ。それぞれのフロアに、フィッティングルームもあるし、レジもあるし、階をまたいだ移動も問題なく、とても便利です。しかも、中西さんのモバイルで在庫確認ができ、視覚障害の方が一人で待たされることがなく不安が無いですね。ガイドヘルパーの基本と

一緒ですね。安心。

フィッティングルームのカーテンを開けると、すかさず中西さんがサイズ感や着こなしの説明をしてくれて、水絵さんは大満足。

約 2 時間のアテンドサービスが終わり、いよいよ清算。4 階のレジは混雑していたようで、中西さんは水絵さんと 1 階のレジに移動。誰も並んでないレジでスムーズにカード清算できました。この日は、ユニクロさんの 3 千円以上お買い上げでもらえるアタックの液体洗濯洗剤も頂き、水絵さんは大変満足そう。

ここで、アテンドサービスを終了。記念に 2 人の写真を撮りました。



左：中西さん 右：水絵さん

## 【アテンド 中西さんのコメント】

見えない・見えづらい方への説明は、素材を触ってもらったり、色のイメージを持ってもらったり、ディテール等の説明をするのに工夫が必要です。またアレとかコレとかの指示代名詞は使わないように心掛けています。まだまだ勉強の毎日です。私の刺激にもなっています。

## 【水絵さんのコメント】

普段、ガイドヘルパーさんと買い物に行く時、「そこまでは、聞けない」みたいな遠慮がありますが、今回はユニクロの方だから遠慮なく聞けて、とても心地よい買い物を体験できました。ありがとうございました。

そして、連れてきてくれた東さんにも感謝です。私達にとって、どうこうえんごは、とっても大切です♪

## 【最後に東から】

今回、「同行援護」という単語を、意図的にひらがなで表記しました。福祉制度の堅いイメージよりも、使いやすいサービスであって欲しいと思ったからです。

アンサンプルの利用者の皆さん！気楽にお出かけしましょ！

**\*ユニクロ銀座店は、視覚障害者の皆様にアテンドサービスを行っています。**

**予約・問い合わせはお電話で 03-6252-5181 担当：柴田真柁(コンシェルジュ)**

## アプリ紹介

皆様、こんにちは。森 佑太です。

これから毎号、自分が気になるアプリの紹介をしていきたいと思ひます。

私はパソコンや iPhone をいじるのが大好きで、便利なアプリが出た時は、必ず試しています。自分にとって役に立つものや、面白いけれど実用的でないもの様々あります。そんな数あるアプリの中で、今回は、Be My Eyes をご紹介したいと思ひます。

Be My Eyes は、サポートを受ける視覚障害者とサポーターの晴眼者が登録しています。(令和 3 年 3 月 20 日現在 視覚障害会員 293,217 人 晴眼サポーター 4,610,508 人)

iPhone のカメラ機能を利用し視覚的な情報を提供してもらうサービスです。サポート料金は無料です。サポーターは手が空いた時間に対応してくれます。サポート内容は特に制限ありません。

「お菓子の賞味期限を見てほしい」や「紙に書いてある文字が知りたい」など見て欲しい物は様々です。iPhone と見て欲しい物の距離で文字がぼやけてしまうなど、カメラ位置の調整が必要な場面があり、サポーターに「右、右。左、左。もう少し離れて、近づいて」と指示をされて、始めは苦労しましたが、慣れてくるとスムーズになってきました。

私は 3 年ほど前からこのアプリを毎日利用してきました。1 日に数回、利用することもあるのでトータルで 1,000 回近くサポートを受けていると思ひます。だいたいは用件が終わると終了するのですが、中には相手のサポーターから「iPhone をよく使っているの？」と声をかけていただけることが



Be My Eyes アプリ

数回ありました。そんな時は、嬉しくなり話が弾み、気がつくと 30 分以上通話していたこともありま  
した。通話の最後に連絡先を交換し、北は北海道から南は沖縄まで知り合いが増えました。

また小さい頃、よく遊んでくれていた人や、高校時代の担任の先生がサポーターで出てきたことも  
あります。声を聞いた時には、驚きでしたが思い切って尋ねると向こうも「やっぱりそうかと思っ  
た。」と久しぶりの再会となりました。

今までは、食品の賞味期限一つ見るにも家族の力が必要でしたが、一人でいる時でも気軽に自分の  
タイミングで知ることができて、人とのつながりも増えることは大きな喜びです。

IT 機器を活用することで今まで視覚障害者が一人ではできなかったことが可能になるというこ  
をこの数年で実感しています。

これから少しずつ自身の体験談を交えながらアプリの便利さを皆さんに紹介できると嬉しいです。

## 新年度 2021年度 正会員・賛助会員を募っています！

日頃より、GPW の活動にご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。2020 年度会員は正会員  
18 名+1 団体、賛助会員 61 名でした。当法人の活動を支えてくださり、ありがとうございました。

今回は、2021 年度の正会員・賛助会員を募っています。青色の振込用紙で恐縮ですが、振込用紙を  
同封しています。当法人に協力しよう、活動を助けようというお気持ちのある方は、どうぞよろしく願  
いします。

当法人は障害者も高齢者も住み慣れた地域で豊かな生活を送るための支援を行っています。一人  
でも多くの方々が支援に参加して下さることを願っています。

会員の方には、GPW 通信を年に 4 回(季刊)定期的に発行し、活動報告をさせていただいておりま  
す。「正会員」と「賛助会員」の 2 種類があります。「正会員」は、法律上の社員となり、会の構成メンバ  
ーとして総会での議決権を持つ等、会の運営に参加していただく方々です。また、「賛助会員」は、会の目  
的に賛同し賛助していただく方々で、いわば、会の活動を側面から応援をしていただく方々です。会員  
の区分により、年会費は次のとおりです。

◎ 正会員 5,000 円

◎ 賛助会員 1 口 3,000 円

郵便振替 口座番号 00110-5-696178

口座名 NPO グローイングピープルズウィル

## 寄付を募っています。

2020 年度は、聖明福祉後援会様、本間律子様、東恵子様、竹村郁様、社会福祉法人桜雲会様、  
藤岡葉子様、土田爲子様、井山克子様、佐藤泰清様、高橋実様、堀長生様、川井田仁様、太田三奈子様、  
酒井久江様、須田希様、風呂田和枝様、市川純子様、平澤美代子様、窪田和泉様、松田利晴様、村上彩子  
様、佐木理人様、梅田ひろ子様、菅村千恵子様、石毛一郎様、渡辺美枝様、匿名の皆さまから寄付を頂  
きました。ご支援をありがとうございました。

当法人では、高齢視覚障害者のためのストレッチ教室、音楽を媒体とした集いの場や視覚に障害があってもわかりやすいフランス語教室、料理教室などのイベントを行っています。福祉制度にない活動が実は利用者にとって非常に大切です。このような活動を安定的に継続し更に充実したものにしていくため、皆様のご理解とお力添えを必要としています。寄付をお考えの方のご連絡をお待ちします。

## 最後に

3月20日に、自治体主催の西荻窪駅周辺まちづくり懇談会に参加しました。この懇談会は、JR西荻窪駅を南北に貫く都計道路補助132号線の道路拡幅に伴うものだと思っていました。私は初めての参加でしたので、これまでの経緯を伺ったところ、やはりというか危惧していた通り、これまで参加していた多くの方は「道路拡幅ありき」を認識していませんでした。また、これまでの参加者に移動制約者(下肢障害者、視覚障害者等)は一人もいなかったようです。それなのに、配布資料には、これまで決まったこととして、歩行者に優しいまちづくりを目指す謳っていました。「移動制約者がいない中で、こんなことを書いたらダメですよ。今後、当事者の意見を聞いたら協力しますよ。」と僕は質問を終えました。

この通信は、音声版でも発行しています。音声版を希望する方は、当法人までご連絡をお願いします。

今回は、チラシを2点(視覚障害者のためのIT機器個人教室のお知らせとまちづくり講演会)と郵便振込用紙を同封しています。

音声CDには、通信の他に視覚障害者のためのIT機器個人教室のお知らせと福祉有償運送アンサンブルのお知らせも収録しています。



不機嫌な近所の猫 昼寝の最中に起こしてしまった。

季刊 GPW 通信 第18号 (2021年 春号) 2021年4月1日発行

発行者 特定非営利活動法人グローイングピープルズウィル 理事長 高橋和哉

〒167-0042 東京都杉並区西荻北 2-2-16 オーシャンアート 202号

URL:<http://gpw.sakura.ne.jp> Tel 03-4285-9727. Fax 03-4285-9727